



問 まちづくり推進課：0869-22-1031

投稿をお待ちしています

- ① 1歳のお子さんの写真
氏名、生年月日、家族（氏名、続柄：2人まで）からのひとことを記入
- ② 短歌・俳句・詩
- ③ イベント案内の告知や募集案内
- ④ イラスト・絵手紙
- ⑤ 瀬戸内市の風景などの写真
写真の題名、撮影場所、撮影日時、コメントなどを記入

★応募方法

住所・氏名・電話番号を明記し、はがき・FAX・電子メールなどでまちづくり推進課へ送付してください。

匿名・ペンネームを希望する場合は、その旨もお書きください。

★留意点

原則として、投稿していただいた原稿や作品は返却していません。掲載の都合上、すべての作品を掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

■問い合わせ・応募先

〒701-4292
瀬戸内市邑久町尾張300-1
瀬戸内市役所 まちづくり推進課
☎0869-22-1031
FAX 0869-22-3304
mail:hiroba@city.setouchi.lg.jp

けいじばん

桃井国志・画文展とギター弾き語り カチコチのこころを解くひとときを

桃井国志さん（牛窓町鹿忍）が、画文展とギターの弾き語りを行います。画文展では、心温まる絵と生きる勇気を与える文章を、弾き語りでは、自著の童話「ドンブカサー」の歌を披露します。

入場料は無料です。ご家族そろって、ぜひ会場へお越しください。
▷画文展 10月1日（月）～8日（月）午前9時～午後5時
※1日は午前11時から開場、8日は午後4時で閉場します。

▷ギターの弾き語り

10月6日（土）、7日（日）
午後2～3時

▷場所 街角ミュゼ牛窓文化館
（牛窓町牛窓 2835-1）

■問い合わせ先

桃井国志さん
☎0869-34-9028



清志初男油彩展

ひたむきに描かれた名も無き無数の石仏

画業56年を迎え「石仏の画家」として知られる清志初男さん（邑久町虫明）が、油彩展を開催します。

入場料は無料です。多くの皆さんの来場をお待ちしています。

▷期間 10月11日（木）～18日（木）

午前9時～午後5時

※15日（月）は休館日です。

※18日（木）は正午まで行います。

▷場所 瀬戸内市立美術館ギャラリーS

■問い合わせ先

清志初男さん
☎090-3636-1225



第52回新世紀展 深閑

わが家の宝1歳です！

Toa

平成23年7月26日生まれ



内田愛夏ちゃん

お住まい 邑久町山田庄
ひとこと
愛夏ちゃん1歳おめでとう♡
☆これからかわいい笑顔で
みんなを癒やしてね♡
（父 豪さん・母 実和子さん）



Aina

平成23年6月24日生まれ

Syouya

平成23年7月25日生まれ



藤原昌也ちゃん

お住まい 邑久町向山
ひとこと
いつまでも元気いっぱい笑顔の
似合う昌ちゃんできてね。お兄
ちゃんこれからいっぱい遊ば
うね。
（父 祥正さん・母 知子さん）

山根翔智ちゃん

お住まい 牛窓町牛窓
ひとこと
嬉しいも悲しいも、楽しいも辛い
も、あなたがいてくれるからこそ
分かる「幸せ」です。生まれてき
てくれてありがとう♡
（父 右士さん・母 亜生さん）

市民ギャラリー

▼山本敏子さん



瀬戸内写真館



題名 ヨットを見詰める者たち
撮影場所 牛窓ヨットハーバー
撮影日時 平成24年9月1日
撮影者 きまぐれカメラマンさん

文芸コーナー

（敬称略）

俳句

夏被お茶接待の仮テント
の場 松葉（牛窓町長浜）
大被朗朗響く夏越祭
原野信一郎（牛窓町牛窓）
父母の齢かぞえて盆の月
後藤 靖子（牛窓町牛窓）
立秋とラジオが流す空の色
野口 慶子（牛窓町牛窓）
皓皓と憂きこと消すや夏の月
原野 孝子（牛窓町牛窓）
蝉時雨校舎改築始まりぬ
平野 五香（牛窓町牛窓）
気がねなく暮す寂しさつりしのぶ
福本 曙生（牛窓町牛窓）
空蝉やしかとつかまる門柱へ
藤井 留女（牛窓町牛窓）
欲を捨て全命大事に一人居る
谷口 正子（牛窓町牛窓）
炎暑日に草引く手にも力入る
堤 明子（長船町磯上）
梅雨合間はかなく落ちる沙羅の花
竹原れい子（長船町服部）

短歌

日々紡ぐ暮らしのたて糸横糸も
少なくなりし残り日いとほし
竹内 和女（牛窓町牛窓）
短命と名残りつくせぬ無念さに
まぶしく鳴くの蝉しぐれ
近藤恵美子（邑久町福山）

戦いも終り夏の疎開児も
今は八十路の旅をゆくなり
片島 秋月（長船町福岡）
川越しに微かに聞こゆ警報機
川の向こうは古里の町
片島智恵子（長船町福岡）
昔日の病ひの夫に欲しかりき
広く涼しき之の一部屋を
上山 幸子（邑久町豊安）
癌病みて十一年生きて逝きし夫
遺せし日記に心情をよむ
朝霧 好子（牛窓町鹿忍）
日は暮れて道は遙けくなりけり
ひとりとぼとぼ観経を読む
赤田 章（邑久町山田庄）

編集後記

▼表紙でも紹介しましたが、喜之助フェスティバルを取材しました。繊細でコミカルな人形の動きに感動。あつという間に人形劇の世界に引き込まれました▼ただしフラッシュ禁止の中、撮影した写真は手ぶれ続出。事前調査の大切さと腕不足を痛感しました。ナガ

▼室内で飼っている猫の文旦が隙を見て外に出ようとするので、胴輪とリードを付けて犬の散歩に同行させてみました。▼ところが、家を出てすぐに胴輪を外して逃げ出し散歩は終了。自由気ままに出歩きたい文旦が家から出ないよう注意する日々は続きます。よしこ